

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	総務部長 港営部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	15 効果的な港のPR活動をする		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、来港者、港湾関係者
	サービスの対象物(何を)	名古屋港
意図(どういう状態にしたいのか)	親しんでもらい、関心を高めてもらう	
内容	これまでイベントや情報発信によって名古屋港の知名度の向上、役割や魅力の周知などをしてきました。今後多様なニーズに対応するためロケーションを活かしたイベント等の誘致や情報誌への情報提供数を増やすなど、PR活動を効果的に行い、より多くの人に名古屋港に親しんでもらい、関心を高めていただけるようにしていきます。	
目標	名古屋港の主なイベント(本組合主催)の来港者数49万人を目指します。	目標達成に影響する外的要因等
		イベント時の天候、周年事業の開催

成果指標	実績等	年度								目標 平成25	指標の説明(式)
		平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25				
名古屋港の主なイベント来港者数(管理組合主催)	実績	万人	42	42	43	39	32	40	49	船舶イベント見学者数、みなと祭での来港者数、名古屋港体験ツアーの年間参加者数、キャラクターを活用した名古屋港のPRイベントでの来場者数	
	達成率	%	85.7	85.7	87.8	79.6	65.3	81.6			
名古屋港ホームページへのアクセス数	実績	件	2,862,567	2,662,943	2,731,989	2,462,000	2,351,024	2,849,654	2,700,000		
	達成率	%	106.0	98.6	101.2	91.2	87.1	105.5			

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)
成果※3	コスト※4
	・現政策体系のもと、各種の取り組みにより概ね成果をあげていますが、次期政策体系においては、各種の取り組みに改善を加え、より効果的なPR活動を推進する必要があるため。
	次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)
	・新たなニュースの掘り起こしに努めつつ、記事に採り上げられるような仕組みを盛り込んだマニュアルの見直し等により、更なる掲載率向上を図ります。
	・ホームページ掲載について、より迅速性、効率性を図るため事務手続きの整理をしていきます。

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の練習船等の一般公開情報を名古屋港水族館の大型映像で広報しました。</li> <li>・ニュースリリースの掲載率は、60%強となりました。</li> <li>・ホームページについて、過密になっていたトップページを利用者ニーズに合わせ、5分野に分類し、検索しやすいようにしました。</li> <li>・名古屋港体験ツアーは平成18年2月から平成25年度までに4,000人あまりが参加し、県市民の港湾及び港湾行政への理解や関心を高めることが出来ました。平成25年度からは開催回数を増やすことにより、さらに参加者の増加につなげました。</li> <li>・賑わいと活力溢れる港の実現、地域経済の活性化を目的に、行政機関、関係団体・企業参加のもと、外航クルーズ船の寄港増加に向けた取組を行う会議(名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議)を平成25年2月に設立しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなニュースの掘り起こしをする必要があります。</li> <li>・賑わいの中心であるガーデンふ頭に入港できない大型客船が増加していくことが想定されることから、金城ふ頭での今後の受け入れについて、検討していく必要があります。</li> </ul>
	現政策体系における事務事業の適正性
	・事務事業構成は妥当です。

2. Do(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度						事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み			備考(判断の理由等)				
					上段:指標達成状況									準備	結果	コスト	
					下段:事業費(千円・人件費込)												
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	帆船等の寄港誘致と一般公開(個15事01)	練習帆船・汽船、南極観測船等の海事海洋に関する船舶を招致し、一般公開、体験乗船等を実施します。	船舶一般公開見学者数(人)	5,833	3,584	9,022	17,276	7,131	7,252	46,419	11,000(継続)	順調	継続・統合			・南極観測船の寄港誘致を強力に進めていくため。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					7,560	6,584	7,635	9,683	7,465	7,492							
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	海の日名古屋みなと祭の開催(個15事02)	海の日名古屋みなと祭協賛会の事務局を担当し、総会の開催、各行事の調整、警備計画の作成等を行います。行政、団体、地域が役割を分担し、実施します。	みなと祭の来港者数(万人)	39	39	39	30	27	35	151,158	40(継続)	順調	継続・統合			・概ね目標値を満たしているため。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					25,262	25,149	25,089	25,172	25,230	25,256							
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	印刷物・広報番組・広報紙によるPR(個15事03)	印刷物・広報番組・広報紙の作成により名古屋港情報を発信します。	広報番組視聴率(%)	2.3	3.1	3.2	3.3	2.9	3.5	212,180	3.3(継続)	順調	継続・統合			・記事に採り上げられるようなニュースや書き方を記者にヒアリングし、マニュアルの見直しをしていく。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					39,050	36,440	35,418	33,720	33,818	33,734							
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	名古屋港のホームページの運営(個15事04)	ホームページに名古屋港の最新情報を掲載します。	アクセス件数(件)	2,862,567	2,662,943	2,731,989	2,462,000	2,351,024	2,849,654	12,431	2,700,000(継続)	順調	継続・統合			・ホームページの掲載について、より迅速性、効率性を図るための手法を検討する。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					2,054	2,016	1,996	2,024	2,198	2,143							
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	名古屋港体験ツアーの開催(個15事05)	港務艇「ぼーとおふなごや2」により、海上から名古屋港の現状を紹介します。	年間参加者数(人)	530	504	398	511	592	748	8,392	596(継続)	順調	継続・統合			・目標値を満たしているため。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					1,651	1,276	1,353	1,310	1,390	1,412							
○	(総務課) 広報・県市連絡調整担当	キャラクターを活用した名古屋港のPR(個15事06)	名古屋港のマスコットキャラクター「ポータン・ミータン」は、名古屋港開港100周年記念事業の一環として誕生し、現在も「名古屋港のお知らせ隊長」として活躍しています。親しみやすい「ポータン・ミータン」を活用し、幅広く名古屋港のPRを行います。	イベント参加数(件)	35	30	35	25	19	22	25,281	15(継続)	順調	継続・統合			・目標値を満たしているため。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
					5,307	5,194	3,437	3,493	4,301	3,549							
○	(港営部) 誘致推進課	客船誘致の推進(個15事07)	名古屋港へ客船が来るよう誘致します。	客船入港隻数(隻)	35	30	30	29	40	38	41,544	35(継続)	順調	継続			目標値を満たしているため。
					7,016	6,866	6,785	6,896	6,973	7,008							
○	(港営部) 誘致推進課	雑誌「名古屋港」の発行(個15事08)	名古屋港の関係情報・海外の港湾情報・船会社の動向など幅広い情報発信を行います。	発行部数(部)	12,000	12,000	12,000	12,000	14,000	12,000	132,622	12,000(継続)	順調	継続・統合			・継続的に目標値を満たしているため。 ・ポートセールスの実施に係る事業として統合。
					22,178	22,172	21,281	22,105	22,414	22,472							
○	(港営課) 振興課	国際航路協会(PIANC)125周年記念事業の支援(個15事09)	港湾・航路等の技術的課題に関する調査研究や開発途上国への技術支援などを行う国際航路協会(PIANC:本部ベルギー、1885年設立)の設立125周年の名古屋で開催されるアジア地区の記念事業に際し開催地事務局として関係者調整を行います。	記念事業全体プログラムへの参加者数(人)	-	-	220	-	-	-	52,890	200(H22)	完了			目標を達成したため。	
						9,828	43,062										
施策コスト(事業費合計)					110,078	115,525	146,056	104,403	103,789	103,066	682,917						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。  
注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

※3

記入	内容
	拡大 何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
	維持 従来どおり進めていくもの
	縮小 一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
	拡大 成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
	維持 従来どおり進めていくもの
	縮小 一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの